

事務事業名	コード	18800	がん検診事業	予算科目	会計	一般	款	4	項	1	目	2	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
基本施策	5	保健の充実		根拠法令	健康増進法、がん対策基本法									
施策の展開	12	病気予防対策の充実		戦略事業	56							がん検診事業		
施策の展開				戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 40 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・悪性新生物(がん)での死亡は、旭市の死因の第1位である。受診者の拡大を図り、早期発見・早期治療によりがん死亡を減少させるため①胃がん検診②子宮頸がん検診③乳がん検診(超音波・マンモグラフィ)④肺がん検診⑤大腸がん検診⑥前立腺がん検診を実施する。具体的には、①胃がん③乳がん(マンモグラフィ)④肺がんは5月～6月(同時実施)、②子宮頸がん③乳がん(超音波)は5月・7月(同時実施)に4会場を回り、集団検診を実施する。⑤大腸がん⑥前立腺がんは、6月～9月に国保特定健康診査と同時に個別検診・集団検診を実施する。 ・平成24年度から検診料金を一部自己負担制とし、胃がん・子宮頸がん・乳がんは500円、大腸がんは200円、前立腺がんは300円を徴収している。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・胃がん検診は昭和40年、子宮がん検診は昭和42年に開始した。昭和58年に施行された老人保健法に基づき、肺がん・乳がん検診を開始、平成4年から大腸がん検診が追加となり開始する。	がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針、がん対策基本法と根拠法令が変更された。平成20年度から、大腸・前立腺がん検診は集団検診から個別検診・子宮頸がん検診は隔年実施となった。24年度から、肺がん以外は一部自己負担金を徴収するようになり、26年度から、大腸・前立腺がん検診は国保特定健康診査と同時に集団検診も実施している。平成27年3月「旭市健康増進計画」策定。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・「電話で申込みができないのか」「希望の検診日程がとれない」といった意見がある。 ・「検診で早期胃がんが見つかり、治療ができて本当に良かった」という意見があった。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)	単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.委託料	81,754	74,209	75,820	80,857	81,754	84,273
2.役務費	3,491	3,301	3,325	3,244	3,491	3,852
3.需用費	1,234	1,804	1,266	1,206	1,234	1,215
4.賞金	793	839	676	718	793	1,035
5.その他	53	2	2	2	53	5
② 特定財源の内訳(29年度の決算)	単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.国庫支出金	90	1,040	532	240	90	133
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					

前年度増減理由	・子宮がん検診委託料が増額したため、支出増。 ・補助金(クーポン券)対象者が変更になった為、財源減。
---------	---

従事職員数	常時	5人	最大	8人	×	38日	=	延べ	304人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	------

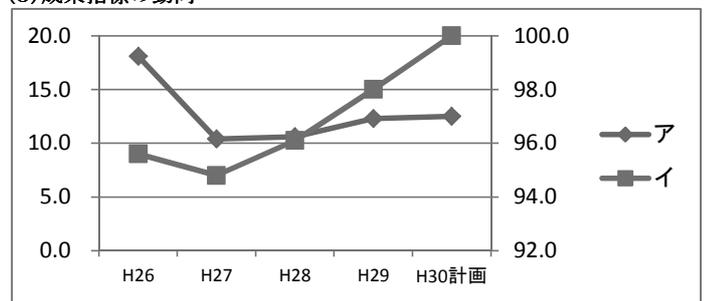
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・女性専用の複合検診の実施 ・胃がん検診車の男女別実施 ・子宮・乳房(エコー)検診及びレディース検診時に託児実施 ・保育所や乳幼児健診、及び市内公共機関・医療機関・金融機関を介して検診PR ・国保短期人間ドックにおけるがん検診結果の取り込み		ア 検診実施日数	日	47	45	44	38	41
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 ・胃・大腸・肺がんは40歳以上の市民・子宮頸がんは20歳以上の女性 ・早期にがんが発見できる ・早期にがんの治療ができる		ア 検診受診率(胃がん)	%	18.1	10.4	10.6	12.3	12.5
	対象意図		イ 集団検診精密検査受診率(胃がん)	%	95.6	94.8	96.1	98.0	100.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果	② コスト削減優先度評価結果																																														
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">成果向上余地</th> <th colspan="3">成果向上余地</th> </tr> <tr> <th>かなりある</th> <th>ある程度ある</th> <th>ほとんどない</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">施策貢献度</th> <td>大きい</td> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小さい</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果向上余地	成果向上余地			かなりある	ある程度ある	ほとんどない	施策貢献度	大きい	②		普通			小さい			<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">コスト比率</th> <th colspan="3">コスト比率</th> </tr> <tr> <th>下位 1/3</th> <th>中位 1/3</th> <th>上位 1/3</th> </tr> <tr> <th rowspan="9">評価結果</th> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td>(5)</td> </tr> <tr> <td>④⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦⑧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	コスト比率	コスト比率			下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	評価結果	①			②			③		(5)	④⑤			⑥			⑦⑧			⑨		
成果向上余地		成果向上余地																																													
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない																																												
施策貢献度	大きい	②																																													
	普通																																														
	小さい																																														
コスト比率	コスト比率																																														
	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3																																												
評価結果	①																																														
	②																																														
	③		(5)																																												
	④⑤																																														
	⑥																																														
	⑦⑧																																														
	⑨																																														

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期 今年度内 内容 H31年度ピロリ菌検査導入に向け、関係機関と調整を行い、実施方法を決定する。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()
31年度	胃がん検診への関心度を高めるため、胃がん検診時にピロリ菌検査を追加実施可能とする。 (30年度は準備・調整実施)